本章では、4重点分野を対象に各重点分野の研究者数を推定した。

3-1 基本方針

研究者とは、科学技術研究調査の「研究者¹」に該当するものとした。科学技術研究調査に示された平成14年3月31日現在の研究者数は表3-1-1のとおりである。

表 3-1-1 研究者数

研究機関	研究者数(人)
学校等 ^注	171,094
非営利団体・公的機関	44,938
企業等	430,688
合計	646,720

注:学校等の研究者は、研究本務者の教員のみを対象とした。

各重点分野の研究者数は、上表に示した**研究機関毎(a.学校等、b.非営利団体・公的機関、c.企業等)**に推定した。

3-2 推計方法

4重点分野の研究者数の推計方法は、**継続的に利用できることを念頭に置き、既存の統計資料等のデータを用いた推計方法**とした。

研究機関毎の研究者の推計方法を以下に示す。

表 3-2-1 各機関の研究者数の推計方法

推計方法		研究機関		
		学校等	非営利団体・公的機関	企業等
方法1	学校基本調査のデータを用いた推計			
方法2	科学技術研究調査の特定目的別研究費を用いた推計			
方法3	ReaDに登録された研究者データを用いた推計			
方法4	科学技術研究調査の産業別研究者数を用いた推計			

各推計方法の概要は以下のとおり(推計の作業イメージを別紙2に示す。)

3-2-1 方法1:学校基本調査のデータを用いた推計

学校基本調査の学部別大学教員数を基礎データとして、学校等の研究者数を推計した。

学校基本調査の調査項目の中には、各大学の学部毎の教員数がある。

『大学における人材供給力調査』(以下、「人材供給力調査」という。)の推計結果により、学部毎に学部全体の学生数に対して、各重点分野に係る学生数が占める割合を求めることができることから、各学部において、当該重点分野に係る学生数の割合と同じ割合で、学部全体の教員数に対して当該重点分野に係る教員数があるものと仮定した。

¹ 研究者(科学技術研究調査):大学(短期大学を除く。)の課程を修了した者(又はこれと同等以上の専門的知識を有する者)で、特定の研究テーマをもって研究を行っている者をいう。